



## 平成26年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年6月24日

上場取引所 東 大

上場会社名 株式会社キリン堂

コード番号 2660 URL <http://www.kirindo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 寺西 豊彦

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 井村 登

TEL 06-6394-0039

四半期報告書提出予定日 平成25年6月27日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年2月期第1四半期の連結業績(平成25年2月16日～平成25年5月15日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第1四半期	24,514	1.5	299	83.6	377	55.2	150	△58.8
25年2月期第1四半期	24,141	△3.1	162	△46.2	243	△37.0	364	—

(注) 包括利益 26年2月期第1四半期 185百万円 (△50.1%) 25年2月期第1四半期 371百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第1四半期	13.24	—
25年2月期第1四半期	32.17	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年2月期第1四半期	42,199	11,080	26.0
25年2月期	40,960	11,008	26.6

(参考) 自己資本 26年2月期第1四半期 10,973百万円 25年2月期 10,903百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	10.00	—	10.00	20.00
26年2月期	—	—	—	—	—
26年2月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年2月期の連結業績予想(平成25年2月16日～平成26年2月15日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	52,200	2.1	1,030	54.1	1,200	41.6	340	△36.0	30.01
通期	104,900	3.1	2,230	15.9	2,590	15.5	790	△10.5	69.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、四半期決算短信(添付資料)P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年2月期1Q	11,332,206 株	25年2月期	11,332,206 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年2月期1Q	1,086 株	25年2月期	1,086 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年2月期1Q	11,331,120 株	25年2月期1Q	11,331,145 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8
4. 補足情報 .....	9
販売の状況 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権の積極的な経済・金融政策に対する期待感から円安・株高が進行し、景況感には改善の動きが見られたものの、雇用・所得環境は依然厳しい状況が続くなど実体経済の回復までには至っておらず、全体として先行き不透明な状況が続いております。

当社の属するドラッグストア業界では、お客様の低価格志向・節約志向が継続する中、業種・業態を越えた競争の激化も相まって厳しい経営環境が続いております。

このような環境のもと、当社グループは「地域コミュニティの中核となるドラッグストアチェーン」の確立をスローガンに掲げ、商圈内のお客様にとって便利で買いやすい売場づくり、セルフメディケーションの受け皿となる「かかりつけ薬局」としての機能を高め充実させるなど、顧客第一主義の店づくりを推し進めております。さらに、業態間競争に勝ち抜く収益基盤の確立を図るため、経営効率改善に注力しております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、引き続き、従業員の意識改革を図るための教育を徹底するとともに、既存店の活性化を推し進めるほか、調剤事業の推進（調剤売上高の拡大）に努めてまいりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## &lt;小売事業&gt;

小売事業におきましては、既存店の活性化対策として、当社が4店舗の改装を実施いたしました。また、カウンセリング販売に注力したほか、ポイントカードによるお客様の囲い込みとポイントカード会員様に対する販促策の実施等に努めてまいりました。

さらに、調剤部門の伸びに加え、春先の花粉関連商品の販売増、化粧品並びに健康食品部門の寄与により増収となりました。

利益面につきましては、相対的に粗利率の高い調剤部門やヘルス&ビューティケア商品の売上構成比が前年同期に比べアップしたことに加え、コストコントロールに努めた結果、増益となりました。

出退店状況におきましては、ドミナントエリア強化のため、当社がスーパードラッグストアを兵庫県に2店舗を出店いたしましたほか、スーパードラッグストア1店舗、小型店1店舗の計2店舗を閉店いたしました。

以上により、当第1四半期連結会計期間末の当社グループ店舗数は、以下のとおり（合計323店舗／内、海外店舗1店舗）となりました。

	前期末	出店等	閉店	当第1四半期末
スーパードラッグストア (内、調剤薬局併設型)	268 (27)	2 (-)	1 (-)	269 (27)
小型店 (内、調剤薬局併設型) (内、調剤薬局)	51 (5) (19)	- (-) (-)	1 (-) (-)	50 (5) (19)
その他 (内、調剤薬局併設型)	1 (1)	- (-)	- (-)	1 (1)
F C店	2	-	-	2
国内計	322	2	2	322
中国（常州市）	1	-	-	1
海外計	1	-	-	1
合計	323	2	2	323

この結果、小売事業の売上高は243億78百万円（前年同期比1.5%増）、営業利益は3億87百万円（同46.2%増）となりました。

## &lt;その他&gt;

医療コンサルティング事業におきましては、連結子会社である㈱ソシオンヘルスケアマネジメントが営む在宅医療サポート事業は堅調に推移した一方、昨年9月に開設した介護事業施設の先行費用等が発生いたしました。

また、卸売事業におきましては、販売に注力した結果、堅調に推移いたしました。

この結果、その他の売上高は、1億36百万円（前年同期比4.7%増）、営業利益は23百万円（同5.0%減）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高245億14百万円（前年同期比1.5%増）、営業利益2億99百万円（同83.6%増）、経常利益は3億77百万円（同55.2%増）となりました。また、四半期純利益は前年同期における一過性の要因（繰越欠損金の利用に伴う節税効果）の反動減により、1億50百万円（同58.8%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ12億39百万円増加し、421億99百万円となりました。これは主に、たな卸資産の増加などによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ11億67百万円増加し、311億19百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加などによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ72百万円増加し、110億80百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加などによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年2月期の連結業績予想につきましては、前回予想（平成25年4月1日に発表した平成26年2月期の連結業績予想）から変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

当社における、調剤薬品の評価方法は、従来、最終仕入原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）によっておりましたが、調剤在庫の重要性が増したため、新たな調剤在庫管理システムの導入を行ったことを機に、当第1四半期連結会計期間より総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）に変更しております。

なお、この変更による影響額は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月15日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年5月15日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,500	6,012
受取手形及び売掛金	2,101	2,046
たな卸資産	11,572	12,459
その他	2,473	2,548
貸倒引当金	△49	△49
流動資産合計	21,598	23,016
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,434	6,566
その他（純額）	1,570	1,485
有形固定資産合計	8,004	8,051
無形固定資産		
のれん	1,838	1,740
その他	390	393
無形固定資産合計	2,228	2,133
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,988	3,988
その他	5,532	5,406
貸倒引当金	△392	△396
投資その他の資産合計	9,128	8,998
固定資産合計	19,362	19,183
資産合計	40,960	42,199

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月15日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年5月15日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,276	13,828
短期借入金	4,928	4,931
未払法人税等	300	380
賞与引当金	358	727
ポイント引当金	24	22
その他	2,004	2,268
流動負債合計	20,892	22,158
固定負債		
長期借入金	7,011	6,950
資産除去債務	1,011	1,022
その他	1,036	987
固定負債合計	9,059	8,960
負債合計	29,951	31,119
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,237	3,237
資本剰余金	3,223	3,223
利益剰余金	4,389	4,426
自己株式	△0	△0
株主資本合計	10,849	10,886
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	43	68
為替換算調整勘定	10	18
その他の包括利益累計額合計	54	87
少数株主持分	105	106
純資産合計	11,008	11,080
負債純資産合計	40,960	42,199

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年2月16日 至 平成24年5月15日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年2月16日 至 平成25年5月15日)
売上高	24,141	24,514
売上原価	17,679	17,914
売上総利益	6,462	6,599
販売費及び一般管理費		
報酬及び給料手当	2,378	2,427
賞与引当金繰入額	330	366
賃借料	1,367	1,354
その他	2,223	2,151
販売費及び一般管理費合計	6,299	6,300
営業利益	162	299
営業外収益		
受取情報処理料	90	91
受取賃貸料	71	85
その他	64	50
営業外収益合計	226	228
営業外費用		
支払利息	43	33
賃貸費用	68	77
その他	35	39
営業外費用合計	146	150
経常利益	243	377
特別損失		
固定資産売却損	—	1
固定資産除却損	0	2
投資有価証券評価損	0	—
その他	0	—
特別損失合計	1	4
税金等調整前四半期純利益	241	373
法人税、住民税及び事業税	216	353
法人税等調整額	△346	△132
法人税等合計	△129	221
少数株主損益調整前四半期純利益	371	151
少数株主利益	6	1
四半期純利益	364	150



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年2月16日 至平成24年5月15日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年2月16日 至平成25年5月15日)
少数株主損益調整前四半期純利益	371	151
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	25
為替換算調整勘定	0	7
その他の包括利益合計	0	33
四半期包括利益	371	185
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	364	183
少数株主に係る四半期包括利益	6	1

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## I 前第1四半期連結累計期間（自 平成24年2月16日 至 平成24年5月15日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	小売事業	(注) 1			
売上高					
外部顧客への売上高	24,011	130	24,141	—	24,141
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	167	167	△167	—
計	24,011	297	24,308	△167	24,141
セグメント利益	264	24	289	△126	162

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、卸売事業、医療コンサルティング事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△126百万円には、セグメント間取引消去0百万円、のれんの償却額△123百万円及び営業権の償却額△4百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間（自 平成25年2月16日 至 平成25年5月15日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	小売事業	(注) 1			
売上高					
外部顧客への売上高	24,378	136	24,514	—	24,514
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	140	140	△140	—
計	24,378	276	24,654	△140	24,514
セグメント利益	387	23	410	△111	299

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、卸売事業、医療コンサルティング事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△111百万円には、セグメント間取引消去4百万円、のれんの償却額△109百万円及び営業権の償却額△5百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 4. 補足情報

## 販売の状況

当第1四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年2月16日 至 平成25年5月15日)	対前年同四半期増減率 (%)
小売事業 (百万円)	24,378	1.5
その他 (百万円)	136	4.7
合計 (百万円)	24,514	1.5

(注) 1. セグメント間取引については相殺消去しております。

2. 小売事業における品目別売上高は次のとおりであります。

区分	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年2月16日 至 平成25年5月15日)			
	売上高 (百万円)	対前年同四半期 増減率 (%)	構成比 (%)	
商品売上高	医薬品	4,808	2.5	19.7
	健康食品	1,102	1.1	4.5
	化粧品	6,212	1.5	25.5
	育児用品	691	△0.7	2.9
	雑貨等	9,461	△0.6	38.8
	計	22,276	0.7	91.4
調剤売上高	2,026	11.7	8.3	
その他	74	△3.5	0.3	
合計	24,378	1.5	100.0	

(注) 小売事業の「その他」は、社員販売売上高等であります。